

独立行政法人地域医療機能推進機構

第2回 仙台南病院地域協議会議事録

日時:平成28年5月24日(火) 19時00分～20時20分

場所:病院3階 第二・第三会議室

出席者: 栗城 盛一 (仙台市太白区保健福祉センター 所長)
小久保真由美 (名取市健康福祉部介護長寿課 課長)
米本 博喜 (名取市健康福祉部保健センター 所長)
浅沼 達二 (仙台市太白区医師会 代表幹事)
丹野 尚昭 (名取市医師会 会長)
三浦 勇 (下前田東町内会 会長)
佐藤 憲勇 (下前田前沖町内会 会長)
朝倉院長・秋野副院長・遠藤副院長・村上事務部長・鈴木看護部長・佐々木副看護部長・
小野地域連携室長・菊地老健看護師長・吉田総務企画課長・高谷総務企画課員(事務局・書記)

議事内容(吉田総務企画課長進行)

・協議会次第にそって

1. 開会

2. 院長挨拶

本日はお忙しいところ、第2回仙台南病院地域協議会にご出席頂き、ありがとうございます。

この地域協議会は地域医療機能推進法の規程により開催されるものであり、一昨年独法化された際に第1回目を開催しておりますが、その際にも医師会の先生方や名取市の行政担当の方々、町内会長さんにも出席頂いております。

第1回目の開催時にも当院の沿革や独法化の経緯などご説明しているところではございますが今回あらためて委員になっていただく方にご案内させて頂き、大変遅くなりましたが第2回目の地域協議会を開催させて頂きました。

本日の内容ですが、当院も3年目に入り、当院の現状・概況について順を追って説明させて頂くほか、地域医療機能推進機構の使命である地域包括ケアの推進について協議させて頂きたいと思っております。では、本日はよろしく願いいたします。

3. 委員の紹介

4. 概況説明

病院職員が項目毎に資料に添って説明

- 1) 施設運営状況(村上事務部長)
- 2) 病棟運営状況等(鈴木看護部長・小野地域連携室長)

- 3) 地域包括ケアに向けた取り組み(遠藤副院長・小野地域連携室長)
- 4) 地域包括ケア病棟の状況(遠藤副院長・パワーポイントを使用)
- 5) 地域包括ケアシステム(朝倉院長)

5. 質疑応答

:名取市医師会 丹野会長

地域包括ケア病棟は急性期入院ではないということであるが、紹介する医師の立場からすると、良く分からないのですが。

:朝倉院長 遠藤副院長

紹介患者については基本的には一般病棟で受入れる形となります。病院運営上では長期入院については在院日数の制約があり、患者の状態に応じて地域包括ケア病棟に移って頂く場合があります。

院内の運用上の問題であり、紹介患者を頂く場合はこの点について考慮頂く必要はありません。地域包括ケアシステムと地域包括ケア病棟は別物と考えて頂ければと思います。

:下前田東町内会 三浦会長

初めての参加で分からないのですが、高度急性期とは何か教えて頂けませんか。

:朝倉院長

急性期や高度急性期とは、例えば肺炎であれば急性期、気管支炎であれば慢性期に分類され、病気の重症度や病気の始まりや終わりといった進行度合いにより分けているものです。

:下前田東町内会 三浦会長

先ほどの施設の概況状況の報告の中で、健診件数が大きく減少しているのは何故でしょうか。JCHOに移行したから減少したのですか。

:村上事務部長

当院の健診については最盛期で年間12,000～13,000件の健診受診者がありました。

減少の要因としては健診専任医師が不在であったこと、採算性の問題からバス健診を廃止したことが挙げられると思います。

:下前田前沖町内会 佐藤会長 下前田東町内会 三浦会長

今回の協議会出席にあたり、町内会の会員から産婦人科や小児科といった休診となっている診療科を再開して頂けないでしょうかという意見が多く出されました。

再開の有無・可能性をお聞かせ願えますか。

:朝倉院長

現在は皆さんご承知の通り医師不足が続いているほか、仙台では大学が新たに開設された事もあり、医師集約の動きもあります。また、どの診療科の医師も不足している状況です。

これは、産婦人科や小児科だけではなく、現員がいる病院の診療科でも同様の状況です。

当院としても少しでも医師を充実させ、地域に貢献したいと考えてはおりますが、現状は大変難しい状況です。残念ながら、当面医師補充の予定はございません。

:朝倉院長

近年、高齢化が進み人口に占める高齢者の割合も高くなっています。

これらの高齢者については、地域で診ていかなければならないため、地域包括ケアシステムを構築して行かなければなりません。

近隣の取り組みとして当院が参加している「東中田高齢者保健福祉連携の会」等も一案ではないかと考えています。

現在いろいろなサービスが提供されてはおりますが、当事者間の利害が対立したり、患者と家族の意見の相違などいろいろな問題もあり、一枚岩ではいかない状況です。

本日は行政側からも担当課の方々に参加頂いておりますので、地域包括ケアシステムについての行政側からのご意見を伺いたいと思います。

:仙台市太白区保健福祉センター 栗城所長

地域の取り組みとして「東中田高齢者保健福祉連携の会」が発足しようとしており、前回打合せにも参加させていただきました。

行政側の担当としても参加したいと考えています。

現状は、地域包括ケアについて、行政としての明確なビジョンを打ち出させていません。

仙台市太白区の人口は約25万人で、高齢者の比率は22%、55,000人となっています。

また、障害者の数は1,900人弱、生活保護受給者は約3,000人おり、高齢者・障害者に対する対策が急務となっています。

地域の民生委員が活動し情報源とはなっていますが、個人情報保護の問題から、実情どうなっているのかという情報が得られていない状況です。

行政側としてもやれる限界がありますし、地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムが必要であることから、今後そのような形になって行くのではないかと考えています。

:名取市健康福祉部介護長寿課 小久保課長

名取市では、第6期の介護業務計画から地域包括ケアシステムの構築を盛り込み、いろいろな事業に取り組んでいます。

その中でも地域包括ケアシステムは、一朝一夕に出来るものではなく、時間をかけて精査して行きたいと考えています。

まずは医師やケアマネージャーとの「顔の見える関係作り」から始めたいと考えています。

これと同時に介護予防の推進にも力を入れ、住民の意識改革・働きかけも行っていく予定です。

:朝倉院長

所変われば地域包括ケアのやり方・システムも変わるので、病院としても協力して行きたいと思えます。

:仙台市太白区医師会 浅沼代表幹事

最近の傾向として、一人暮らしの患者の往診を依頼されることが多くなっています。

入院しても手がかかる患者が多く、なかなか病院に紹介できないのが実情です。

ケアマネージャーに相談しても解決策が見出せず、お手上げの状況であるため、地域包括ケアシステムの早期構築を強く望んでいます。

:鈴木看護部長

地域の方々に是非知って頂きたいのですが、当院のスタッフは健康を維持・増進するための知恵を沢山持っていますので、講演会等に是非活用して頂ければと思います。

:下前田東町内会 三浦会長

病院の近隣には5つの町内会があり様々な活動をしておりますが、要介護者に関しては、会長のほか役員数名と民生委員が情報を持っているだけで、共有化が進んでいません。

個人情報保護の問題もあり、町内会としても取り組みが難しい状況です。

:朝倉院長

病院・老健それぞれが様々な活動を行っておりますが、情報の共有化ができていなかったため整理を進めている状況です。

病院として医療・介護施設関係者向け及び住民向けのメニューを多数用意しており、現在取り組み内容・情報を取りまとめているところであり、今後発信して行きますので、是非活用頂ければと思います。

6. 閉会の挨拶

朝倉院長より

本日はお忙しい中ありがとうございました。

関係機関の皆様と協力しながら、地域包括ケアシステム構築に向けて取り組んで行きたいと思えます。

今後ともよろしく願いいたします。